

第6回 総務建設常任委員会

開催日	令和3年9月16日（木曜日）	
開催場所	粕屋町役場 3F 31会議室	
開催時間	9:28～11:47	
出席者	議員	末若委員長・杉野副委員長・山脇委員・川口委員・安藤委員・ 鞭馬委員・案浦委員・田代委員
	事務局	山田主幹
	担当課	箱田町長・吉武副町長 ※冒頭挨拶のみ 総務部（山野部長） 協働のまちづくり課（豊福課長・白久主幹） 都市政策部（山本部長） 道路環境整備課（安松課長・青木主幹・渋田主幹） 都市計画課（田代課長・岩崎主幹） 上下水道課（松本課長・渡辺主幹）
欠席者	なし	
審査項目	<p>付議事項</p> <p>1) 議案第57号 「備品購入契約の締結について」 粕屋町消防ポンプ自動車（粕屋町消防団第4分団【受持区域：戸原区・長戸区】使用）の購入契約を締結するにあたり、議会の議決を求められたもの。契約の詳細は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none">・契約金額 20,108,000円（7社による指名競争入札）・契約相手 株式会社九州防災センター 代表取締役 永江昭浩・契約期間 契約効力発生の翌日から令和4年2月25日まで・納入車両 消防ポンプ自動車（CD-I型）1台・現況車両は使用開始から19年経過・落札率は約98.97%・財源は福岡空港環境整備助成事業、8,043,000円（補助率40%）及び緊急防災・減債事業債 <p>審査</p> <ul style="list-style-type: none">・消防自動車の買替えの基準は、また福岡空港環境整備助成事業は毎年受けられるのか。 ⇒概ね20年で買い替えている。助成事業は、買い替え時に毎回申請しているが、採択されない場合もある。・入札関係資料の備考欄に失格とあるがどういう意味か。 ⇒入札予定価格を超過したものの。	

審査項目

- ・備品購入の場合、予定価格は公表していないのか。
⇒備品購入の場合、事前公表はしていない。
- ・備品購入の場合こそ、事前公表したほうが競争が高まり調達価格はもっと下がるのではないか。
⇒ご意見を踏まえ今後協議をしていきたい。なお、次回の調達以降は、一般競争入札に移行する予定。
- ・古い消防自動車は下取りに出すのか。
⇒公売する予定。
- ・消防自動車に関しては、20年でなく15年で更新をしてほしい。緊急性の高い特殊自動車であるので、現場で不具合等出ないように安全に現場対応できるようにしてほしい。
- ・失格が多いが、予定価格の積算時に市場価格の見誤りがあったのでは。もしくは今実施されていることはないと思うが、歩切いわゆる予定価格の根拠のない引き下げがなされたということはないのか。
⇒歩切については行われていない。
- ・消防自動車の選定にあたって、地域性の考慮はなされたのか。
⇒今回は、大型建築物や高層階の建物がある地域であるためCD-I型を選定している。
- ・団員の減少等もあり、今後消防団を運営していく中で、分団の統合等も視野に入れて中長期的に今後の計画等の検討はなされているか。
⇒書面化されている様なものではないが、第1段階として団員の処遇改善を進めている。団の統合となると、団との入念な協議が必要であり、回答はしかねる。

審査の結果、全員賛成で原案どおり可決。

2) 議案第58号 「工事請負契約の締結について」

広田・二股瀬線道路舗装工事の契約締結をするにあたり、議会の議決を求めるもの。契約の詳細は以下のとおり。

- ・契約金額 55,880,000円
- ・相手方 興和道路株式会社 代表取締役 田中隆臣
- ・工事期間 契約効力発生の翌日から令和4年2月18日まで
- ・工事場所 粕屋町大字仲原地内
- ・工事概要 工事長 L=445.0m
舗装工 表層 A=2920.0m 中間層 A=2920.0m
基層 A=2920.0m 路盤 A=2920.0m
安全施設工 区画線 N=1.0式
- ・指名競争入札（8社）※うち2社辞退

審査

- ・指名業者に町内の業者は無いようだが、町内に該当する業者がなかったということか。
⇒今回の予定価格による指名業者数は8社で、5000万円を超えるためAランクから選ぶ必要があるが、町内には存在しない。

審査項目

- ・最近の入札では辞退が多いが、技術者が配置できないことが理由か。
⇒1社が予定価格の範囲内での入札が不可能。もう1社が技術者の配置が困難なためということである。
 - ・技術者が配置できないのは、土木公共工事の発注が多いからか。
⇒災害が続いており、その関係の工事に人手や技術者がとられている。また、建築の関係については福岡市内での民間の事業が多く実施されている影響で不足している。
 - ・道路の苦情で来るのが、わだちがすぐにできることや騒音・振動に関するものである。今回の工事は3層になっているが、1層ごとしっかり検査をしていただきたい。また、クッション材等を入れることができないのか。
⇒クッション材等はないが、そういうことを考慮しFe処理材という小石に特殊な石灰を混ぜて強い路盤にしている。町道は通常1層だが、今回の工事の所は交通量も多く3層にしている。確認については工程に応じ当然行っている。
 - ・歩道の整備は道路の改良時にしかできないといわれていたが、今回は道路を改良するわけだが、歩道の整備は考えてなかったのか。
⇒今回は舗装の打ち換えであり、道路の改良ではないため歩道整備は行わない。
 - ・町道の改良について、主要な道路は今後3層で行っていくのか。
⇒必ず3層ということではない。交通量や道路の状況によりその都度決定している。
- 審査の結果、全員賛成で原案どおり可決。

報告事項

1) 協働のまちづくり課からの報告

8月11日からの大雨に対する町の対応について、時系列に沿って説明がなされた。(以下抜粋)

- 8月12日 10:11 大雨警報(土砂災害)、洪水警報発表
- 11:00 災害警戒本部設置
- 8月13日 16:00 災害対策本部に移行
- 17:00 自主避難所としてかすやドームを開設
- 8月14日 04:30 町内の土砂災害警戒区域に避難指示発令
- 06:04 洪水警報発表
- 8月15日 08:00 土砂災害警戒情報の解除に伴い、自主避難所の閉鎖
- 災害警戒本部に移行
- 8月18日 11:00 災害警戒本部廃止

なお、被害状況等は以下の通り。

- ・被害状況…町道冠水、町内4か所
- ・避難状況…かすやドーム避難者 0名
- ・人的被害…0件

審査項目

確認事項及び意見

・8月13日17時の避難所開設は避難者受入れが可となった時間か。であれば前準備はいつくらいから始めたのか。

⇒もともと開ける準備はしていたが、16時の対策本部に移行した時点で内部的には決定、準備し17時には受け入れを開始した。

2) 道路環境整備課からの報告

粕屋町清掃センター解体工事の進捗状況について報告が行われた。詳細については以下のとおり。

・工事概要については以下のとおり

全体工期 : 令和3年1月26日～令和5年2月28日

施工業者 : 奥村組・サンコービルド特定建設工事共同企業体

施工管理 : 日本水工設計株式会社

・管理棟、車庫室、屋外設備は解体工事完了

・場内4か所で粉じん・騒音・振動測定を実施

・環境対策仮設工事、ダイオキシン類・アスベストの除去工事は完了

・現在は解体工事の段階

・今後、工場棟の設備解体、建屋の解体、煙突の解体と進め、その後土壌汚染対策工事、跡地整備と進める予定

確認事項及び意見

・解体したもののマニフェストはあるのか。管理しているのか。

⇒アスベスト、ダイオキシン類に関しては特別管理産業廃棄物としてマニフェストを提出させ、処分場まで施工管理業者が立会いのもと管理している。

・アスベスト、ダイオキシン類はどこに運んでいるのか。

⇒アスベストに関しては熊本市。ダイオキシン類については一部が北九州市、一部が大分県になっている。

3) 都市計画課からの報告

①九大農場跡地対策の現状と今後の取組みについて説明が行われた。

まず、九大移転のこれまでに経緯について、九大・町・福岡東環状線・阿恵官衙遺跡のそれぞれについて、時系列に基づいた経過及び現地区域図に基づく現状が説明された。

今後のスケジュールについては以下のとおり。

・まちづくりの方向性については本年10月から業務委託を行い、事業化に向けた検討を行う。

・遺跡については令和5年度から史跡整備基本計画、6年度に史跡整備実施設計、7年度に史跡整備工事を予定。

・都市計画の具体的編入手続きは令和7年度。

・令和8年度にまちづくりの実実施設計、9年度から工事を行う予定。

・このスケジュールは都市計画の定期線引きがある令和7年度に市街化編入を目標としており、かなりタイトなものとなっている。

・遺跡の発掘調査や福岡東環状線の完成時期等不明確なものが多く、

審査項目

実施時期や期間が変更となる可能性がある。

確認事項及び意見

・この工事の開始点は JR 篠栗線の嵩上げだと思う。ここが進まない
と後が進まないのでは。着工の見通しはあるのか。

⇒県の方からははっきりと時期は明示されていない。ただ、高架の
事業は5年ほどかかるという話は聞いている。

・JR の嵩上げ工事の費用はどこが出すのか。またマスタープランでは
新駅構想が生きているが、状況によっては変更があるのでは。

⇒費用は事業主体の福岡県が負担する。新駅構想は構造上の制約も
あり困難な状況だが、今後も協議はしていきたい。

・本年 10 月からまちづくり方向性について業務委託するようだが、
コンサルに委託するのか。

⇒土地利用の検討などをコンサルに委託する予定。

・委託は 10 月から入るのか。

⇒10 月を目途に入札などの手続きに入るよう計画している。

・跡地を町が購入し、実行していくような計画はあるのか。

⇒今年、来年と事業化に向けた検討していくが、町が主体的に事業
が進められるかという点も含めて検討していく予定。

・都市計画の手続きで、県と国の手続きは同時進行で行うのか。

⇒県との下協議をまず行い、ある程度整った段階で県が国に協議に
行く。その結果を県が町におろすという流れである。

・福岡東環状線が令和 9 年度の開通だったと思うが、それに合わせて
まちづくりスケジュールを進行していくということか。

⇒県が平成 30 年度に再評価を行っているが、その際今後 10 年はか
かるというようになっており、最短でも令和 9 年か 10 年、若干そ
れ以上かかる可能性がある。

編入の手続きについては、定期線引を福岡県が 5 年に 1 回行って
いるが、令和 7 年度というのがその時期であり、道路が完成するし
ないにかかわらず、この時期かその 5 年後ということになる。町と
しては早い方の時期を目指していくということで令和 7 年度の定
期線引に目標を設定している。しかし道路ができないとまちづくり
は厳しいので、道路の完成時期や発掘時期に合わせて柔軟に考えら
れれば良いかと思う。

ただ、これが 5 年に 1 回のもので、1 年、2 年ずらせるのか、
一気に 5 年後ということになるのか。編入できないと建物が建てら
れないので、いろんなことを調整しながらやりたいが、まずはこの
目標を設定している。

・10 月からコンサルに委託するのは大枠の計画か、それとも具体的な
構想か。どういうものを委託するのか。

⇒大きな意味合いとしては、町がどんな意思を持ってこのまちづく
りをするかというものをしっかりと決めなければならない。その意
思決定をするためのある程度の道筋を作るのが今回の委託である。

審査項目

道筋を決めるための土地利用の方針を決めるというくらいのもの。
・九大との勉強会をやっているということだが、箱崎キャンパスの開発に関する情報なども提供してもらっているのか。

⇒現在も随時続けている。こちらとしては、福岡市がどのようにやっているのか知りたいのだが、九大側もなかなか細かいことは教えていただけていない。福岡市が行っているよりもっといい方法でもっといいまちを作れるようにと情報交換を行っている。

・どういう形であれ、町が主体的にやることを私たちは望んでいる。九大に町としてはこういう形でやっていきたいんだという提案をしていくことで、粕屋町の想いでやっていこうという流れになるのでは。粕屋町が主導的にもっと攻めた形でやると粕屋町が思う活用ができるので、その辺は事業化に向けた検討を行ったのちに行っていくことになるのか。

⇒主体がどこであろうが、町がどんどん入っていくべきであろうと考えている。今回検討行った結果をもとにさらに詳しい設計は、予定の段階ではあるが令和5年度に入っていこうと思う。

町がもっと入っていくために、一番良いのは町が購入すること。町の土地になれば町の意見が反映される。購入しなければ他人の土地であり、なかなか意見が聞いてもらえないこともある。買うとなれば財政がどこまで許すのか。そういう点を今年度から2か年かけてしていく。

②その他

○内橋東部地区住居表示実施の経緯

地元説明の経緯について時系列に沿って説明がなされ、令和3年9月4日に当該地区のうちサンライフ区を除く区域について実施がなされた旨が説明された。

なお、サンライフ区については住居表示の方法等で区側と協議が続いていることから、今回の実施を見送ったとのこと。

○駕与丁公園バラ園入口通路改良工事

民地側への進入禁止等の立て看板等が設置により駐車場への進入ができなくなったことに伴い、池側法面への盛土等による通路を拡幅及びアスファルト舗装工事が終了した旨報告がなされた。

4) 上下水道課からの報告

粕屋南配水池2号池築造工事について報告が行われた。詳細については以下のとおり。

- ・契約金額 785,400,000円
- ・相手方 株式会社ウォーターテック西日本支店 支店長 中村幸男
- ・入札方法 条件付一般競争入札（最低落札方式）
- ・工事機関 令和3年7月6日～令和5年2月28日
- ・工事概要 配水池築造工事 SUSパネル造 V=1,820 m³×1池
基礎杭工事 PHC杭φ800 N=54本

<p style="text-align: center;">審査項目</p>	<p style="text-align: center;">場内配管工事 φ 400・φ 300 L=155.22m 電気設備工事 一式 付帯工 一式</p> <p>確認事項及び意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工後のメンテナンスもウォーターテックが行うのか。 ⇒この契約にメンテナンス等が入っていない。 ・ いずれにせよメンテナンスはかかってくるのでは。その都度公募等されるのか。 ⇒今回はステンレス製ということで、メンテナンスが容易であり、通常の清掃を数年に一度行うこと及び目視点検を考えている。また不具合等あれば溶接等で対応を考えている。 ・ 条件付一般競争入札と指名競争入札の違いは。 ⇒指名競争入札はこちらで業者を絞り入札依頼をかけるもの。一般競争入札については公告とホームページへの掲載で告知し、入札依頼等を行わない。広く入札を求めるもの。 ・ 今までこのような入札は行われてきたのか。今回はステンレス製ということで特殊であったからか。 ⇒物品等については行われたことがあるようだが、知る限りでは本町では初めてではないか。他の市町村では一般競争入札が多くなっている。今回初めてではあったが、他市町村の事例を参考に実施した。 ・ 入札等を所管する総務課との関係は。 ⇒一般競争入札になると担当の下ですべて行う。町としても一般競争入札取り入れていく方針になっている。今から先は他の課でも増えてくるのではないか。
<p style="text-align: center;">その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲原川の工事の関係で、以前入札が不調になり分割し 4,000 万円工事ということで報告があったが、そちらも不調に終わったということで、今後対応を検討し、対応が決定したのちに改めて説明するということがあった。 ・ 閉会中の特定事件（所管事務）調査については、「入札契約の現状把握に関すること」、「タブレット等の情報伝達の可能性調査」については「デジタル化に向けた取組みに関して」に切り替える。また「市制に向けた取組みに関すること」、「九大農場跡地対策に関すること」、「水源、海淡センター等、上水道に関する現状の把握」を議題とする。 九大農場跡地対策に関して、当委員会と九大との協議については本日の担当課の報告の状況を鑑み、いったんゼロベースに戻し新たに町の方の動きがあれば話を進めることとした。 なお、正副委員長でありさつにはいく方向で検討することとした。 ・ 本田議員より、猫に関する事で、神戸市、仙台市では人と猫との共生

その他

に関する条例を作っているらしいので、議会から発議するくらいのもりで取組みたいとの相談があり、担当の当委員会の意見を聴きたいとの要望があり、協議の結果、今回の閉会中の特定事件（所管事務）調査に入れませんが、他の自治体の状況について、副委員長を中心に調査していくことになった。

- ・行政視察について、可能であれば1月末くらいとし、次回（10月予定）の委員会までに視察先の検討を各自行い、12月には決定することとした。なお、状況により訪問できない場合はZoomの利用も検討する。